



7/9 Hirado City Photo News 地域ブランド確立へ前進

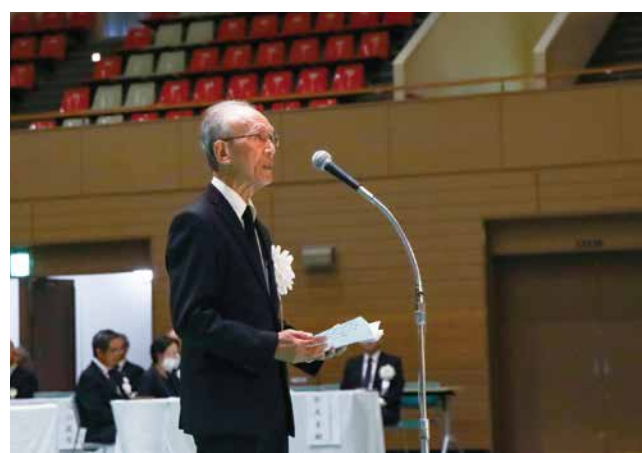


平戸あごのロゴマークが令和8年4月に一般商標登録されたことを受け、平戸商工会議所の竹田会頭と平戸市商工会の貞方会長が松尾市長を訪問し、登録完了と今後の取り組みについて報告しました。

平戸あごのロゴマークについては、平戸商工会議所および平戸市商工会が連携し、地域の魅力発信やブランド力向上に向けて取り組んでいます。

今後は、地域の特性を生かしたブランドとして認知度向上を図り、地域団体商標の取得を目指しながら、平戸あごの魅力発信に取り組んでいきます。

7/8 Hirado City Photo News 平和への祈りと誓い



平戸文化センターで令和8年度平戸市戦没者追悼式が開催され、遺族や来賓など約250人が参列しました。

式典では、遺族を代表して、竹田耕太郎さんと中村正利さんがご霊前に献花し、平戸市連合遺族会の太田正喜会長が追悼のことばを捧げました。

また、中野小学校6年生が「平和への誓い」を宣誓し「この時代に」を合唱。その後、平戸中学校吹奏楽部生徒の追悼演奏が行われ、戦没者のご遺徳を胸に刻み、平和への誓いを新たにしました。

7/2 Hirado City Photo News 安全・安心な社会を目指して



平戸市役所で、「第76回社会を明るくする運動強調月間に伴う内閣総理大臣メッセージ伝達式」が行われ、平戸・松浦地区保護司会平戸分区の今川亮生会長が、松尾市長へメッセージを伝達しました。

この運動は、犯罪や非行の防止とあやまちを犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くことを目的としています。強調月間に合わせて、7月2日～8日に、平戸城と幸橋が運動のイメージカラーである黄色にライトアップされました。

6/30・7/29 Hirado City Photo News 3年間の想いを語る



6月30日に平戸市未来創造館、7月29日に平戸文化センターで、国際交流員活動報告会が開催され、平戸市で3年間活動してきた国際交流員、ジョセphine・スミット氏(オランダ)と張芸氏(中国)が、これまでの取り組みや地域での出会い、学び、そして今後の国際交流への思いを発表しました。

また、質問コーナーでは、過去の交流事業に参加した高校生がオランダでの体験を発表するなど、質問や感想が次々と寄せられ、国際交流への興味が深まる会となりました。

7/17~18 Hirado City Photo News 熱気あふれる2連戦



平戸市総合運動公園「赤坂野球場」で、プロ野球独立リーグ・北九州下関フェニックスのホームゲームが2日間にわたり開催されました。

今年のチームスローガン「頂戦〜街をつなぎ、ひとつの未来へ〜」のもと、多くの来場者が選手たちへ熱い声援を送りました。

両日も佐賀アジアドリームズとの対戦となり、17日は14対2、18日は13対1で北九州下関フェニックスが連勝しました。球場では力強いプレーが続き、終始大きな歓声と拍手が響きました。

7/9~10 Hirado City Photo News 歴史を守り活かすために



世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産を持つ自治体や地域団体でつくる「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会情報交流部会の会議と視察が、平戸市で行われました。この会議は毎年持ち回りで開催されており、平戸市での開催は今回が初めてです。

当日は、平戸市内外から37人が参加し、田平天主堂、春日集落、中江ノ島などを視察しました。会議では、各地域の活動実績の共有や意見交換が行われ、参加者同士の交流が深まりました。

7/6~27 Hirado City Photo News ともに考える平戸の未来



7月6日から、中部地区を皮切りに、平戸市内7カ所で「タウンミーティングひらど」が開催されました。これまで「市政懇談会」として、2年に1度開催されてきましたが、今回から名称を「タウンミーティングひらど」へと改めました。

各会場では、松尾市長が「平戸市の人口の推移について」、「平戸市の財政状況」、「平戸市ふるさと納税の状況」、「平戸市の未来を描く重点的施策」などのテーマについて説明し、市民の皆さんと活発な意見交換が行われました。

7/2 Hirado City Photo News 人権擁護活動への感謝を込めて



平戸市役所で、退職人権擁護委員に対する法務大臣感謝状の贈呈式が行われました。田代久光(たしろひさみつ)さん(写真左)と安河内佳子(やすこうちよしこ)さん(写真右)の2人に、長崎地方法務局平戸支局の馬場支局長から感謝状が贈呈されました。

2人は令和2年7月の委嘱以来、2期6年にわたり人権相談や小中学校での人権教室などに取り組み、豊富な知識や社会経験を生かして人権尊重思想の普及に尽力されました。これまでの活動は地域に大きく貢献するもので、多大な功績を挙げられました。